

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



スポーツ交流

ふるさと友好都市「狛江市」の婦人バレー・バドミントンチームが来町。町内チームと交流試合を行い、友好を深めました。
6月19日 川口中体育館で

夏の苗場山を

日帰りで歩いてみませんか!!

- 町民登山のご案内**
1. 期 日 8月6日(日)
 2. 集合場所及び時間
川口町役場
午前4時50分
 3. 出発時間 午前5時
 4. 会 費 2,000円
(交通費他)
 5. 募集人員 20人
(定員になりしだい切りります)
 6. 申込み メグロ理容院まで
(TEL) 89-2140

ハガキ

三、二、一、
住所
氏名

- 生涯学習の一つとして、俳句をつくってみてはいかがでしょう。当町は文部省から生涯学習モデル市町村に指定されています。俳句は五、七、五の短い詩で容易につくれます。第一回町民俳句大会を機に是非、挑戦してみてください。
- ◆投句要領**
一、ハガキに一人三句以内。
(ハガキは何枚でも可)
- ◆発表**
一、大会 十一月三日
会場 文化会館
二、表彰 大会当日各賞発表
主催 川口町教育委員会
- ◆題(不要) 夏季、秋季の雑詠(初心者歓迎)**
三、切り日 八月三十一日
四、選者 東京大内迪子先生
(草魚賞受賞、句集若菜籠、桜しべその他)
地元星野珠石庭氏
(俳人 協会々員)
- 五、投句先 川口町川口
末広荘俳句会
六、投句者 老若男女、どなたでもどうぞ。

街頭作品展募集

- 申込み先 町公民館
 - 申込期限 7月20日
- 写真・絵画・書道など多数の出品をお待ちしています。



第6回町長杯争奪

カラオケ大会

出場者募集!!

- 申込み先 川口町商工会 ☎89-2113
- 切り 7月10日

初心者バドミントン教室

- 期日 7月17.24.31.8月7日の月曜日PM8~10時まで
- 会場 川口中学校体育館
- 費用 1,800円(7月12日切)
- 申込み先 川口町教育委員会(89-3111) バドミントン協会(89-3615)

公営住宅空室情報

- 県営住宅
あけぼの団地 1戸(24)
あかさか団地 6戸(24)
- 町営住宅
よしとみ団地 0戸(16)
大島団地 2戸(30)
()内は全戸数

大淵井太郎さん(埼玉県)から町に寄附
前山ノ相川出身の大淵井太郎さんから、社会福祉にと二十万円の寄附をいただきました。ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

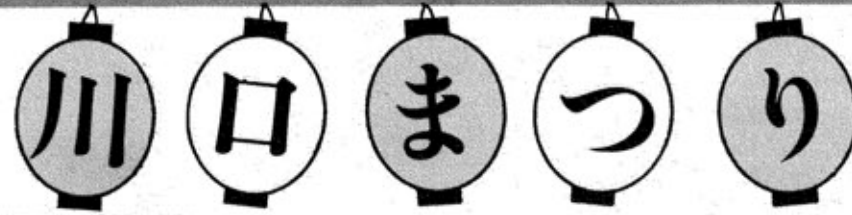
人口	6,459人	平成元年7月1日現在
男	3,148人	
女	3,311人	
世帯数	1,506戸	

- おもな内容**
- 川口まつり行事案内..... 2~3
 - 牛ヶ島地区に水道新設..... 4~5
 - 町議会6月定例会..... 6
 - 川口町職員採用について..... 7

- 国際交流学習すすむ..... 8~9
- スポーツコーナー..... 10~12
- むし歯予防ポスター作品展..... 13
- 郷土の歴史散歩..... 14



ふるさとの



▲あおり太鼓



▲武者行列



▲婦人みこし



▲狛江みこし



▲大民踊流し

行事案内

7月30日(日)		
9:30~ 9:50	川口あおり太鼓	お祭り広場
9:30~11:00	武者行列	東部 一円
10:00~12:00	狛江市みこし 友好参加 婦人みこし 天神ばやしパレード	東部 一円
15:20~15:50	童歌 子供天神ばやし 子供棒おどり	お祭り広場
16:20~17:00	交通安全パレード 鼓笛隊パレード	東部 一円
19:30~21:00	万灯行列	東部 一円
19:30~21:00	大民踊流し	東部 一円

まつり

7月29日(土) 30日(日)

大花火大会

魚野川河畔

7月29日(土)~7月30日(日)

20:00~21:30

町民号
大スターマイン 29日 打ち上げ
2尺玉 30日



▲ステージショー
▼カラオケ大会



7月29日(土)~7月30日(日)

ボンボン献灯 東部 一円

街頭作品展 東部本町通り

7月29日(土)

14:00~16:00 みこし渡御 東部 一円

15:30~18:00 ステージショー お祭り広場

20:00~22:00 カラオケ大会 お祭り広場

7月30日(日) 10:00~16:00

郵便局コーナー

消防コーナー お祭り広場

テレホンコーナー

毎年七月の最終土、日曜日
は、川口まつりの日です。
今年七月二十九日(土)、三十
日(日)の二日間にわたり、お
祭り広場(役場庁舎前)をメイ
ンに、盛大に行われます。

この日は全町民あけてお祭
りを楽しみます。
祭りの最大の呼び物は、勇壯
な川口あおり太鼓と武者行列
です。演ずるは小・中学生男女。
川口あおり太鼓を合図に大絵
巻が華やかに繰り広げられま

す。是非ご覧ください。
そして、町の郷土芸能「子
供棒おどり」をはじめ、祭り
を盛り上げる「鼓笛隊パレ
ド」や大人顔まけの「子供天
神ばやし」に昔を偲ぶ「童歌」
など、子供たちが活躍します。

ご期待ください。
更に、今年もふるさと友好
都市狛江市から勇壮な「みこ
し」が参加し、地元の婦人「み
こし」とともに、一段とお祭
りを盛り上げてくれます。
また、商工会による「天神

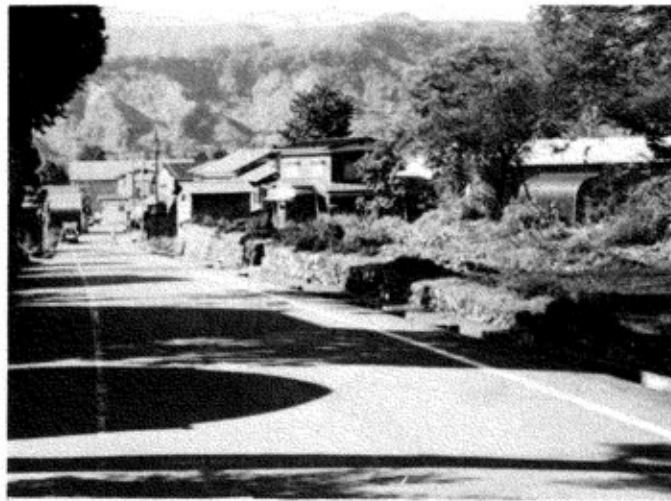
ばやしパレード」も登場し、両
日はお祭り一色となります。
クライマックスは、「万灯行
列」、「大民踊流し」と続き夏
の夜を飾り、そして花火「町
民号」が夏の夜空に舞い上がり、
大輪の花が大きく広がります。

牛ヶ島地区に水道新設 この秋給水開始

中央簡易水道 「牛ヶ島地区」拡張事業

このほど、中央簡易水道「牛ヶ島地区」拡張事業が着工されました。この秋に完成し、給水が行われます。

町は、これまでに各簡易水道の施設改良や老朽管の布設替えなどを行い、水量の確保、ちの健康で文化的な生活を支える水道について、スポットをあてて見ました。



▲「牛ヶ島地区」
今年の10月1日給水を目指して水道新設

牛ヶ島簡易水道組合
三十六年の歴史に幕
まず、今回着工された牛ヶ島地区の水道は、昨年度の天納地区に続き、新規に拡張整備を行うもので、水源は、町の幹線水

道・中央簡易水道とを結び、貝之沢地区の配水管から導水して、各戸に給水されます。牛ヶ島地区の戸数は、現在六十四戸。飲料水は一部の給水区域（新道地区）を除き、二十一戸が自家水（井戸）で三十五戸が組合経営（牛ヶ島簡易水道組合）の水道から給水されています。

この中で、牛ヶ島簡易水道組合の歴史は古く、昭和二十八年に新設され、町では最初につくられた水道として（当時三十戸が加入）今日まで給水を行ってきました。

ところが、ここ三、四年前から、特に夏、冬の渇水期には水源の地下水量の不足が起り、加えて、施設の老朽化が進み、維持管理も困難をきたすなど、町営水道の新設が急がれていました。

まもなく、水道管布設のための掘削工事が始まり、給水開始は、この十月一日としていきます。これにより、同地区の全戸が、町の簡易水道から給水されることとなり、飲料水の安定確保が図られることとなりました。

総事業費

五千三百万円

導水管延長八百三十m
配水管延長千四百十m など

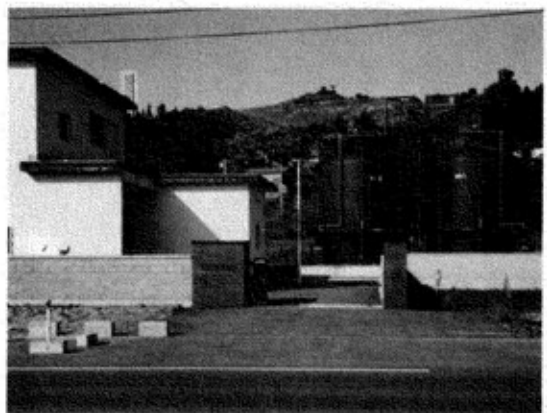
町の水道は

四施設で

次に町の簡易水道施設について見てみます。

また、総事業費は五千三百万円で、導水管延長八百三十m（口径百mm）、配水管延長千四百十m（百mm〜四十mm）、圧力調整弁一〇式、既設水源井戸整備一〇式などとなっています。

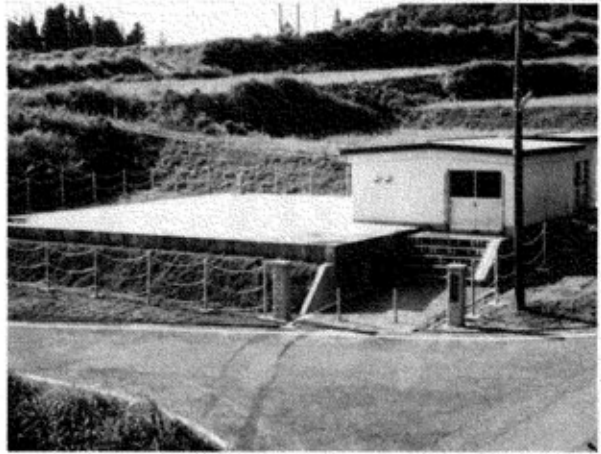
町は、東部、西部及び上川地区の簡易水道施設の老朽化、施設の分散による不経済と水量不足の解消を図るため、同簡易水道整備計画に基づき、昭和五十九年〜六十年にかけて完成。水道施設の統合により、経費節減と水量不足の解消、水質改善が図られ、当該地区の飲料水の安定供給が確保されました。



▲中央簡易水道「中山浄水場」
昭和59年〜61年度完成

文化的な生活に欠くことのできない水は、この中央簡易水道と田麦山簡易水道、小高簡易水道、西倉簡易水道の四施設で給水されています。また、和南津

地区については、昭和六十二年に中央簡易水道に統合、天納地区は昨年度、中央簡易水道「天納地区」拡張事業により、水道が新設されています。



▲中央簡易水道「中山配水池」

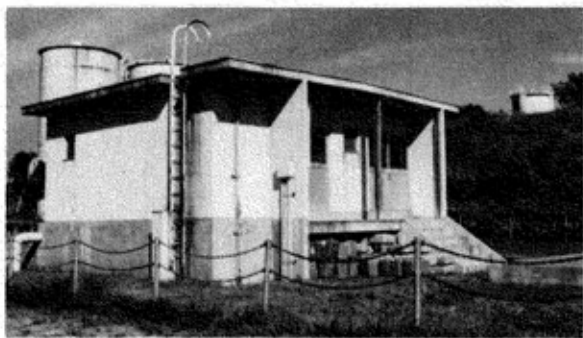
過去十年間 水道整備に 約十五億円

このように、町では計画的に水道施設の整備を行ってきっており、昭和五十四年度から昨年度までの十年間に整備に要した費用は、約十五億円となっております。

水道は、健康的で文化的な生活を支える最も重要な施設であります。また、経済の発展や生活水準の向上に伴って、水需用は増大しております。そして、水道水源の確保など水道整備には多額の費用を要

別表一

施設名	給水区域	水道整備等
中央簡易水道	川口、中山	昭和五十九年〜六十一年度 水源、導水管、浄水場、送水管、配水池、配水管の新設及び改良
田麦山簡易水道	西川口（西倉を除く） 牛ヶ島（鷺津を除く）	昭和六十二年 和南津簡易水道統合 昭和六十三年 天納地区水道新設
小高簡易水道	田麦山（小高を除く）	昭和五十四年度 水源、浄水場、配水池、送水管の新設及び改良
西倉簡易水道	西倉、鷺津、塩殿の一部	昭和六十二年 水源、導水管の新設 配水池の整備
		昭和五十六年度 水道新設 サービスイリアにも給水



▲西倉簡易水道「西倉浄水場」

別表二 過去5年間の給水戸数、給水量、普及率等

区分	年度	59	60	61	62	63
給水戸数		1,347戸	1,335戸	1,333戸	1,329戸	1,346戸
給水人口		5,220人	5,230人	5,235人	5,225人	5,276人
使用料		83,453千円	101,964千円	105,282千円	111,487千円	116,371千円
給水量		567,854m ³	538,978m ³	537,882m ³	556,966m ³	587,510m ³
1戸1ヵ月平均使用料		5,163円	6,365円	6,582円	6,991円	7,205円
普及率		93.6%	94.4%	93.0%	93.2%	93.2%
給水区域内人口		5,574人	5,539人	5,629人	5,606人	5,662人

近代水道が始まって 百一年

日本で水道が初めてつくられたのはいつのころからかというところ、天正十八年（一五九〇年）に徳川家康が江戸に幕府を開くにあたってつくられた神田上水が最初といわれています。

江戸時代の各戸への給水は木桶や竹管で導水し、共同使用にあたっては留樹からくみ取る方法が採られていました。安政元年（一八五四年）に

鎖国が終わり、外国との交易が盛んになると、コレラ、チフスなどの伝染病が流行するようになり、衛生施設としての近代式水道の敷設が強く望まれるようになりました。

そして、ついに明治二十年、鉄管を用い、ろ過した浄水を供給する、いわゆる近代式水道が横浜市に創設されることになったのです。

昭和五年、高級鍍鉄管の国内生産がスタートし、昭和十二年には水道法が制定され世界最大の水道専用ダムである東京都小内ダムが完成するなど、水道は着実な発展を遂げ、昨年十月、百周年を迎えました。

町議会八月定例会

原案通り可決

六月二十八日、町議会六月定例会が開かれ、報告一件、平成元年度町一般会計補正予算、条例改正など議案五件、請願及び発議案各一件について審議が行われ、原案通り可決、採択されました。以下、その概要は次のとおりです。

- 議案第五十二号 平成元年度川口町一般会計補正予算(第三号)について
● 議案第五十三号 川口町国民健康保険条例の一部改正について
● 議案第五十四号 県営土地改良事業の施行に
● 議案第五十五号 工事請負契約の締結について

中央簡易水道牛ヶ島地区拡張工事に伴い、工事請負予定価格が三千万円以上により議会の議決を求めるものです。

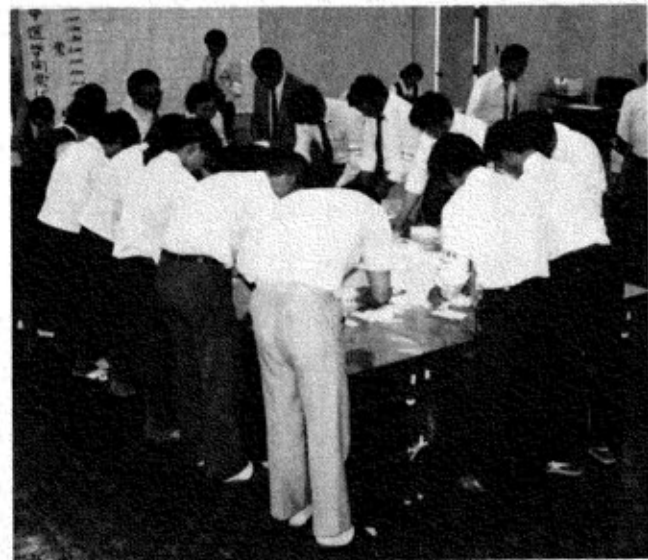
県知事選挙結果

六月四日に行われた新潟県知事選挙は、三人の候補者で争われ、前副知事の金子清氏が当選しました。川口町開票区の投票票状況は次のとおりです。

投票票状況

Table with 5 columns: 区分, 有権者数, 投票者数, 投票率, 前回投票率. Rows for Male, Female, and Total.

Table with 2 columns: 有効投票数, 無効投票数, 投票総数. Values: 4,219票, 38票, 4,257票.



平成二年度川口町職員の採用について

平成二年度川口町職員の採用試験を次により行います。

◆ 上級(大卒者)試験

- 一、職種 一般行政職
二、採用予定人員 若干名
三、受験資格 昭和三十九年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた者

◆ 初級(高卒者)試験

- 一、職種 一般行政職(一般事務及び土木技術)
二、採用予定人員 若干名
三、受験資格 昭和四十三年四月二日から昭和四十七年四月一日までに生まれた者

◆ 上級・初級試験共通

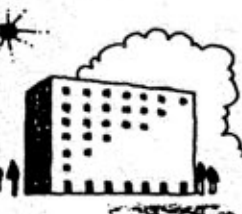
- 一、試験日 平成元年十月一日(日)
二、試験場 川口町役場
三、方法 大学卒業程度(上級試験)

● 受験手続
一、申込書の請求先 川口町役場 総務課
二、申込方法 受験申込書に所要事項を記入し、押印し、写真(たて四cm、よこ三cm)一枚を添付して、川口町役場総務課に直接持参するか郵送して下さい。
三、受付期間及び受付時間 平成元年八月七日(月曜日)から平成元年八月二十八日(土曜日)まで。

川口郵便局が初の貯金局長表彰受賞

川口郵便局は、昭和六十三年度為替貯金事業で、初の貯金局長表彰を受賞しました。これは、同郵便局の貯金高等の営業成績が優秀であったことが認められ、今回受賞されたものです。

また、この資金の一部は大蔵省資金運用部に預託され、財政投融資計画を通じて各地の発展に大きく貢献しています。



不明な点は役場総務課にお問い合わせください。☎(89) 3111



▲笑顔と大きな拍手で迎える



▲すぐ、なれっこになって



▲身振り手振りで会話



▲子どもたちが先生「あやとり」に挑戦



▲一緒に綱引き



▲皆人と握手



▲お二人を拍手で迎える



▲写真を交えて自国を紹介 通訳は星野先生

泉水小



▲野球は初めて！
「よい思い出になりました」 セバスチャンさん(フランス)

田麦山小

▲皆んなで合唱

国際交流学習習わす

外国青年との交歓会

田麦山小と泉水小で

昨年六月、田麦山小学校で初めて試みられた外国人と小学校児童との国際交流は、その輪が広がって、今年も田麦山小学校と泉水小学校の二校で行われました。

田麦山小

今回で三回目

田麦山小学校の交歓会は、昨年の二回に続いて三回目、子供たちも外国人なれをしたのか英語を使って質問をする者もあり、進行はスムーズ。「世界は一つ、みんなで手をつなごう」をテーマにしてウエルカム集会とウエルカム運動会を行い、外国の話や聞き似顔絵や折紙のプレゼント、紅白玉入れや綱引きを一緒にやって交歓、最後は「ありがとうコール」で呼びかけ、別れをおしましました。外国のお客様は、国際大学の男女留学生で次の二人。

- デレサンデーさん (男性、ナイジェリア)
- スライヤーアブドラさん (女性、シンガポール)

泉水小では

五人の留学生を招待

泉水小学校の交流学習会は、同校PTAのエルノーラさんの協力で実現したもので、国際大学から五人の留学生を招いて行われ、木沢小学校の児童も特別参加しました。交流会に参加してくれた外国人は次の五青年。

- アサンテさん(ガーナ)
- レーバンさん(インド)
- イギーさん(フィリッピン)
- セバスチャンさん(フランス)
- ブーナさん(セネガル)

わらべ歌で歓迎

泉水小学校の交流会では、吉村校長先生が外国青年に英語で話しかけ、児童代表が歓迎の言葉が始まって、楽器演奏や同校得意のわらべ歌で歓迎しました。そのあと外国青

年から各教室に別れて入ってもらい、給食と一緒に食べて学級別交歓会となり、ここではゲームや歌、似顔絵を贈ったり、野球をしたクラスもあり、五人とも片言の日本語を話したようですが手まね足つきで心が通じあい、楽しい一日を過ごしていました。

初めての体験に

大きな感動

外国青年はわらべ歌に興味をしめし、初めて野球をした

フランス青年、手紙交換の約束をしたフィリッピン青年、にも収穫があったようです。後日、子供の学校日記には、初めての体験に大きく感動しうれしかった様子が書かれてあって、先生方もその成果を喜んでいました。

なお、田麦山小の山添校長先生は、地元の便り(たむぎやま地区館発行)に次のように寄稿されています。その一部をご紹介します。

世界にはばたけ田麦山の子ども達

田麦山小学校長 山添 寛

ウエルカム集会と銘うって行われている国際交流……ねらいは、外国人の姿に触れる、外国語を直接聞く。外国人の体にふれる。という事です。願いには「女の隣人を愛せ」と言う事、「目を開き、心を広げよう」の二つです。歌や写真を交えての自国の紹介が始まって、三三運動会に汗を流し、会食と一緒にするなど、それはなごやかな一日でした。お一人に対する質問も多すぎて、途中で切り上げたり、英語で質問が出たり、会食時にもお一人に話しかけたり、こんなに子どもは早く外国人にも馴れるものかと、驚くほどでした。お一人は最後まで、「すばらしい子ども達だ」と、温かいもてなしにも感動されました……。そして、「みなさんは、リーダーになれる人達です。そして、日本は世界のリーダーでもあります。」ということばは、なぜか印象に残りました……。

スポーツ

女性スポーツ交流で 狛江チーム来町

狛江市の女性スポーツチームが来町し、町内の女性と親善交流を行いました。

これは、ふるさと交流事業の一つとして、狛江市民と川口町民のふれあい推進のため婦人層の交流を目的としたもので、来町した一行はバレーボールチーム十二人とバトミントンチームの十一人。

六月十九日の夜、川口中体館で町内女性チームと親善試合を行い、翌日はみどり豊かな町内めぐりを楽しみました。

スポーツの町宣言



▶バレーボール・バトミントンで交流

熱戦！ 町長杯争奪をめぐって スポーツ少年団 町長杯野球大会

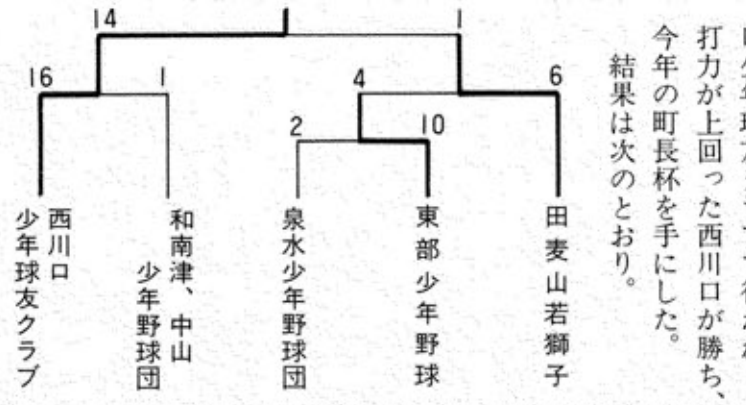
六月十一日(日)、町内少年野球の五チームが参加し、町長杯争奪をかけて熱戦が繰り広げられた。

開会式では、和南津・中山少年野球団のキャプテン喜多村



▲元気よく選手宣誓

西川口球友クラブが大勝



▲田麦山小学校前を一斉にスタート



▶女性ランナーも健闘



杯だして、プレーをしていた。また、会場にはお父さん、お母さんたちが多数応援にかけつけて、チームや我が子のプレーに声援を送っていた。

決勝は田麦山若獅子と西川口少年球友クラブで行われ、打力が上回った西川口が勝ち、今年の町長杯を手にした。結果は次のとおり。

第2回小千谷地区少年柔道大会

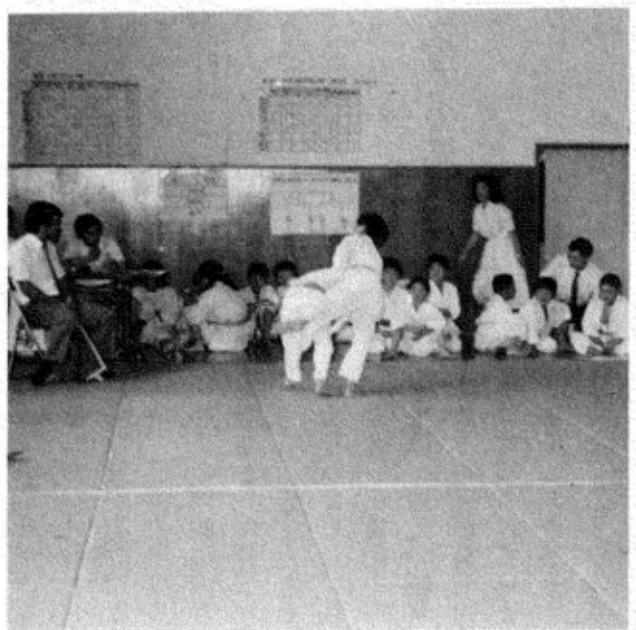
上位を独占 川口少年柔道大会

県大会出場権 川口勢が占める

小千谷警察署主催の第二回小千谷地区少年柔道大会で、当町選手は各部門で小千谷勢を圧倒して上位入賞をはたし、県大会に出場が決まりました。

大会には、小千谷市と川口町の小中学生六十六選手が参加、六月十八日に小千谷市武道場で開催され、中学の部、小学の高中低学年の部でそれぞれ上位に入賞し、昨年の第一回大会同様立派な成績でした。

県大会は七月二十三日に新潟市で行われ、小千谷警察署管内から一チームの出場権があり、中学二人、小学三人の外補欠二人の七人によるチーム編成で、川口勢が六人を占めることになりました。地区大会の成績は次のとおり。



▲少年柔道大会活躍した川口勢

- 中学の部
 - 一位 大淵忠明(川口中二年)
 - 二位 喜多村裕()
 - 三位 渡辺 奨(一年)
 - 小学高学年の部
 - 一位 野沢健二(川口小六年)
 - 二位 涌井貴志(田麦山小六年)
 - 三位 渡辺裕也(川口小五年)
 - 小学中学年の部
 - 一位 黒島正登(川口小四年)
 - 二位 喜多村裕介()
 - 小学低学年(オープン参加)
 - 一位 堀沢洋之(川口小二年)
 - 二位 平沢 篤(三年)
 - 三位 小山大輔(一年)
 - 中学女子(オープン参加)
 - 一位 大淵陽子(川口中一年)
 - 二位 喜多村牧子()
 - 三位 渡部由紀子()
- 県大会には中学の部、小学高学年の部の六人が出場

田麦山スポーツ 振興会 田麦山 ロードレース大会 に百人余が参加

ジョギング愛好者が一同に会し、日頃の練習の成果と親睦を図ろうと、六月十一日(日)、田麦山ロードレース大会が、町内外から百余名の参加を得て、盛大に開催されました。

同大会は、田麦山スポーツ振興会が主催して毎年行われているもので、今回で四回目

を迎えた。レースは、三キロ、八キロ、十五キロで行われ、小中学生をはじめ、高校、一般の男女が参加し、日頃の練習の成果を競った。

町外からの参加者は、隣接市町村をはじめ、新潟、白根、長岡や埼玉からも参加するなど、同大会を一層盛り上げ、沿道の地元の人たちから盛んな声援が送られていた。

また、完走者には記録証が渡され、各々が自分の記録に満足していた。

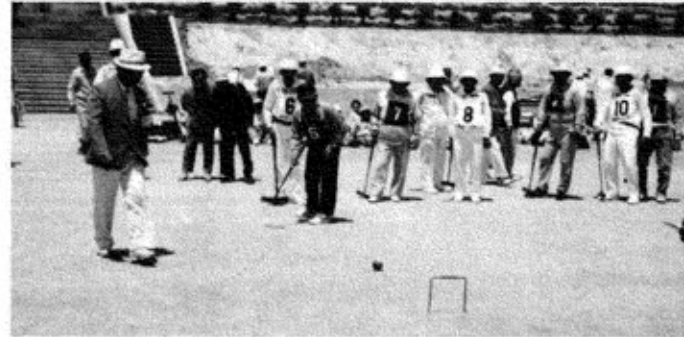


郡少年剣道大会 団体戦で三位

北魚沼郡少年剣道大会は六月に入広瀬村で開催、川口剣道スポーツ少年が、女子団体戦で三位に入賞しました。団体戦に出場したのは次の二人。
小林 美佐
森山まゆ子
(八郎場、川口小六年)
(田中、田麦山小六年)

ゲートボール大会 川口第一老人クラブ が優勝!

高齢者ゲートボール大会は、町内十六チームが参加して運動公園多目的広場のコートで行われ、予戦を勝ちぬいた四チームによる決勝トーナメントは、実力伯仲で熱のこもった好試合が展開しました。成績は次のとおり。
一位 川口第一老人クラブ
二位 田麦山第一老人クラブ
三位 川口第二老人クラブ



▲高齢者ゲートボール大会

郡中学校スポーツ大会 陸上・野球・排球・庭球

川口勢が活躍!

中学校では中越大会、県大会をめざして、スポーツの郡大会がまっさかり。生徒は青春をぶっつけて熱い汗を流しています。

今年には野球が運動公園を会場に、他の種目は郡内各地で開催され、川口勢はそれぞれの種目で活躍、陸上競技は正



▶準優勝(野球)
賞状を受けとる代表者

種目の四位まで、球技では団体二位、個人四位までの入賞者が中越大会に出場することになり、期待されるどころです。



郡中学校 陸上、球技大会の結果

◆陸上競技 (1,2年=学年種目)		三段跳	3位 正	笹崎 貴之
(正=正種目)		砲丸投	1位 正	小宮山 貴久
100m	4位女正		3位女正	丸山麻紀子
200	2年	大淵 忠明	三種A	1位女正
200m	4位 2年	大淵 忠明		3位 正
		岡村 崇央	三種B	3位 正
400m	3位 正	笹崎 進吾		4位女正
800m	1位 2年	阿部 義章	800mリレー	2位
		覚張 篤	男子チーム	
1,500m	4位 正	中林 鋭次	◆野球	2位
		1年 小見 聖仁	◆排球 女子	2位
		女正 丸山 華織	◆軟式庭球	
3,000m	4位 正	大淵 竜也	団体体	男子 2位
走高跳	3位 正	関 正剛	個人	男子
	4位女正	角張しのぶ	1位	綱 正人、桜井 武組
			2位	小西弘康、星野正則組

むし歯予防運動の一つとして実施しているポスター作品展は、金賞三点、銀賞四点、銅賞八点、佳作五十五点の入賞作品が決まり、入賞者に賞状が贈られました。
ポスター展は、七月一日と二日に福祉センターで行われています。
子ども達の力作を是非ご覧ください。

むし歯予防 ポスター作品展

入賞作品決まる

上位入賞者	
金賞	川口小一年 中林ひろよし
	川口小六年 黒島峰子
	川口中二年 小宮山祐子
銀賞	川口小一年 岡村まなぶ
	川口小二年 関 まさと
	川口小六年 磯部 美雪
	川口中一年 星野はづき
銅賞	川口小一年 わたなべさえ



▶川口小一年 中林よしひろ



▶川口小六年 黒島峰子
▶川口中二年 小宮山裕子



川口小三年	小宮山信治
泉小小三年	丸山都夢
木沢小三年	阿部 浩
田麦山小五年	森山 智子
川口小六年	金沢 司
川口中三年	古田島正人
川口中二年	大淵理絵

中学生が 町内クリーン作戦

自分の町をきれいにしよう
と、中学生がクリーン作戦を展開、町内の道路や側溝に捨てられた空き缶、空きびん、ビニール類をひろい集めて処分しました。
中学校生徒会の新生会は、五年前からこの環境美化活動に取り組み、毎年一回実施しているものです。



クリーン作戦で集めたゴミの山

全国で一日に出るゴミは 清掃車十万台分
日本全国で一日に捨てられるゴミの量は、いったいどれくらいになると思いますか。
答えは約十二万トン。清掃車十万台分の量です。これを国民一人当たりに換算してみると、実に一人約一キロのゴミを毎日出し続けていることになりま。

郷土の歴史散歩

古きかわぐちを訪ねて

いまも残る昔の街道や石仏を訪ねて自分の住む町を理解しよう、教育委員会主催で郷土の歴史散歩が、希望者を集めて社会教育指導員の案内で行われました。

八郎場の旧三国街道

今回は、和南津八郎場から相川天納までの旧街道沿いを



▲「歴史散歩」路傍の道祖神をさがしだす

先人の遺した文化を二日間にわたってたずね歩きました。八郎場の旧三国街道や川口宿と堀之内宿の境となる鳶坂峠、峠の原の茶屋跡、各地に残る道祖神や石仏、庚申塚、馬頭観音、明治十八年に作られたという幅二間の旧和南津橋跡、天納地内に残る旧街道跡、川口の中林家に残る本陣跡などに、参加者は古き時代をしのびながらの散歩となくたようでした。また、中山林興庵で名人雲蝶の作となる欄間の彫刻を見学しました。

被害から身を守ろう

夏の災害

日本は四季の変化に富んだ国です。それだけに、梅雨前線の停滞や台風の上陸などがあられ、しばしばわたしたちの生命や財産を奪い、大きなつめ跡を残します。

とくに夏は、集中豪雨や台風による災害が多い季節です。こうした被害を少なくするために、正しい知識を身に付け、落ち着いて行動できるようにしたいものです。

台風情報を正確に知ろう

熱帯地方で発生した低気圧を「熱帯低気圧」といいます。このうち、中心付近の最大風速が毎秒十七・二メートル以上のものを日本では「台風」、それ未満のものを「弱い熱帯低気圧」と呼んでいます。

さて台風は、日本付近で毎年どれくらい発生しているのでしょうか。過去三十年間をみると、平均では毎年約二十七個発生し、そのうち三個が日本に上陸しています。上陸しなくても日本に接近した台風も含めると、毎年五〜六個がわたしたちに影響を与え、ときには災害をもたらします。

そこで知っておきたいのが、

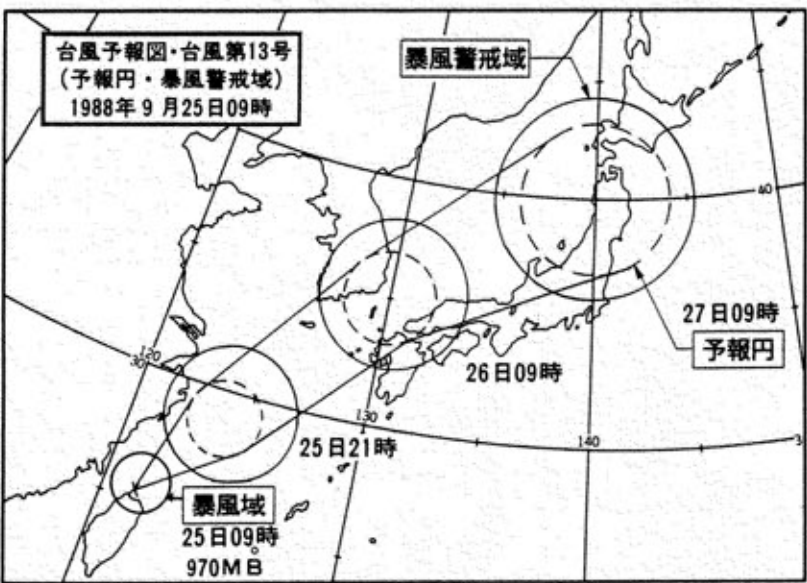
集中豪雨の特徴

集中豪雨の特徴は、強い雨の降り始めから災害発生までの時間がごく短いことです。地形的に災害の発生しやすい地域では強い雨が降ってきたら嚴重な警戒が必要です。大雨警報や大雨情報には十分注意し、集中豪雨



1センチの雨量は10リットル

雨量の測定の仕方は、直径一センチの円筒を地上に置き、その中にたまった雨水の深さをミリメートル単位で読み取ります。雨量一ミリというと少ないと感じる人が意外に多いようです。ところが、三十三平方メートル



後と二十四時間後の予報がされ、七月一日からは、これに加えて四十八時間予報も始まりまし



■余暇の効用■

健康づくりで老後に備える

若いときからの健康づくりが、とても大事になってきます。がむしやりに働くだけの毎日では、長い人生の途中で、くだびれ果てないとも限りません。そのあけく、病気がち、あるいは不健康な老後を余儀なくされるのでは、たまたものではありません。

最近では、ゆとり、潤いといった言葉がよく使われるようになってきました。若いときから、ゆとりを持って働き、余暇を楽しむ生活パターンが多くなっています。

健康づくりは昔から、運動、栄養、休養のバランスが大切



と言われてきました。いかに医療が発達しても、この基本が変わることはないでしょう。健康づくりといえは、やはり運動です。余暇には、できるだけ体を動かす習慣をつけるようにしたいものです。

しかし、生活の中に運動を取り入れ、エンジョイしている人は、まだまだ少ないようです。ふだんの生活の中に、どう運動の時間を織り込んでいくかを考えてみたいものです。体を動かすことは、工夫次第でいくらでもできます。自分に合ったやり方を考え、余暇を有効に活用して、長い老後に備えたいものです。

関心を呼ぶ ゆとりある生活

人生五十年、あるいは六十年の時代には、定年後、退職金などで悠々自適の生活を送ることもそう難しいことではありませんでした。老後がそれほど長くなかったことも背景にあります。

テレビで放送される台風予報図の見方です(図参照)。この中で「暴風域」、「予報円」、「暴風警戒域」の意味を覚えておきましょう。

暴風域とは、平均風速が毎秒二十五メートル以上吹いていると考えられる範囲です。この外側には、平均風速が毎秒二十五メートル未満の強風域があります。予報円とは、台風の中心が到達すると予想される範囲です。この円内には、台風の中心が入る確率は六〇%です。暴風警戒域とは、予想された時刻にこの円内のどこかが、暴風域になるおそれのある範囲です。

現在、台風予報図は十二時間